体育科学習指導案

１．指導と評価の計画

小学校　第３学年　表現運動　リズムダンス　単元名「３の２ダンスパーティ♪ めざせ、ＳＰＤ（すてきなパーティダンサー）！」　学級：札幌市立白楊小学校　３年２組 34 名　指導者：西村　勇吾

単元の目標

知識及び技能	リズムダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己の能力に適した課題を見付け、リズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	リズム運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①リズムダンスの行い方について、言ったり書いたりしている。 ②ロックのリズムの特徴を捉え、リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ることができる。	①ロックのリズムに乗って、全身で踊るための自己の能力に合った課題を見付け、その解決に向けて動きを試したり、友達の動きを取り入れたりしている。 ②工夫した動きを友達と向かい合ったり円形になったりして踊りながら伝えている。	①ロックのリズムに乗って全身で踊る運動に進んで取り組もうとしている。 ②誰とでも仲よく運動しようとしている。 ③場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ④友達の動きや考えを認めようとしている。 ⑤友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

時間	1	2	3	4（本時）	5
目標	○リズムダンスの行い方について、言ったり書いたりすることができるようにする。	○ビートの強いロックの特徴を捉え、リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ることができるようにする。	○軽快なテンポのロックの特徴を捉え、リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と関わり合ったりして即興的に踊ることができるようにする。	○軽快なテンポのロックのリズムに乗って、動きやリズムに変化を付けて踊るための自己の能力に合った課題を見付け、その解決に向けて動きを試したり友達の動きを取り入れたりしている。	○工夫した動きを友達と向かい合ったり円形になったりして踊りながら伝えている。 ○ロックのリズムに乗って全身で踊る運動に進んで取り組もうとしている。
学習の流れ	**○場の設定、安全確認** ☆タブレット端末の持ち方や置く場所を確認し、すぐに撮影できる状態にしておくことを伝える。また、怪我を防ぐ大切さを伝えた上で、服装や場の安全、運動時の友達との距離感を確かめる。 **○イントロダクション** ・ダンスパーティの動画【映画「Footloose（1984）」のエンディング】を視聴し、リズムダンスの行い方や学習で目指す姿を知る。 ☆動画を見て「楽しそう。」「やってみたい。」と感じた場面を児童に問い、ダンスパーティのよさについて共有し、「３の２でもダンスパーティを開いて楽しく踊りたい。」という思いを引き出す。 ３の２ダンスパーティ♪ めざせ、 SPD！ リズムダンスの行い方を知ろう。 ・「リズムダンス」のよさや要点、キーワードを知り、単元の見通しをもつとともに、学び進めようとする意欲や期待を高める。 よさ 世界中で親しまれていて、家族や友達、いろいろな人と一緒に楽しめる。また、勝敗がなく、音楽があれば自由に表現することができる。 要点 「遊び」から「ダンス」にレベルアップしている。リズムの特徴を捉えて、軽快なリズムに乗って、全身で踊るのがポイント。 キー ロック（軽快なテンポ・ビートの強い） ＳＰＤ　全身ではずんで　動きをチェンジ リズムをチェンジ　交流　対面　円形 **○単元で扱うリズムや曲の確認** **○あったためタイム（準備運動）　※長め** ・全身ではずんで踊る動きを中心に心と体をあたためる。 ☆「膝をやわらかく使ってへそをゆらす」「かかとをバウンドさせてへそをゆらす」「体の各部分でリズムをとる」の３つのポイントを共有する。 ☆児童が自然と体幹部（へそ）を動かし、全身ではずんで踊る技能が伸ばせるように、毎時間の序盤にスキルアップの機会を設ける。 **○おどりタイム** ・教師の模範に合わせて、２種類のロックのリズムに乗って全身ではずんで踊る練習をする。 ☆第１時なので、あったためタイムの延長として児童のスキルアップをメインに活動を進める。 **○課題クリアチェック**（ICT） **○片付け、整理運動**	**○場の設定、安全確認** **○あったためタイム（準備運動）　※長め** ・全身ではずんで踊る動きを中心に心と体をあたためる。 ☆「膝をやわらかく使ってへそをゆらす」「体の各部分でリズムをとる」の２つのポイントを再確認する。 **○課題を見付ける活動** ☆ビートの強いロックのリズムを確認後、Workout 系の曲（BPM120 前後）を提示し、「どう踊ったら「○○○」でも SPD になれるかな。」と児童に問い、「0.全身ではずんで踊る」「A.動きをチェンジする」「B.リズムをチェンジする」のいずれかから課題にするか選択させる。 どう踊ったら「○○○」で SPD になれるかな。 ・「おためし○○○タイム」で新しい曲で踊った後、AB２つの課題から自分に合ったものを選択する。 ☆上記 AB の課題は、あくまで全身ではずんで踊るのが土台にあることを共有し、この時間では「0.全身ではずんで踊る」も課題の中に含めてよいこととする。 ☆選んだ課題の言葉が書かれたテープを体育帽子に貼ってもらい、課題の見える化を行う。その子に適した教師の関わりや児童が互いの課題を意識した交流ができるようにする。 **○おどりためしタイム** ・１グループ２、３ペア（４～６人）で８か所に分かれて、課題解決に向けて動きを試す。 ・個人でもくもくと活動したり、友達のよい動きを探してまねしたり、友達同士で教え合ったりなど、自分に合った方法で学習を進める。 ☆児童が課題解決を進める際に、そのヒントとなる掲示をグループ毎に用意する。児童が自分のタイミングで確認をしたり、ペアやグループでの交流の拠り所として使ったりできるようにする。 **○プチパーティ＋ SPD インタビュー（ICT）** ・ペア同士でダンサーとインタビュアーに分かれて、本時で試したよい動きを披露する。 ☆交流の仕方（対面、円形）を共有する。 ☆ペアでお互いの踊りを撮影し合い、踊り終えた後にそのまま「SPD インタビュー」へと移行していく。よい踊りをした後の雰囲気の中でインタビューを行うことで、児童が言葉だけではなく動きも交えながら試した動きについて振り返る姿を引き出す。 ☆ダンサーを取り囲むようにインタビュアーが並び、ステージのような場を設定する。 **○動画みタイム** ・撮影した動画を確認し、課題解決の進捗の確認をする。 **○課題クリアチェック**（ICT） **○片付け、整理運動**	**○場の設定、安全確認** **○あったためタイム（準備運動）　※長め** ・全身ではずんで踊る動きを中心に心と体をあたためる。 ☆「膝をやわらかく使ってへそをゆらす」「体の各部分でリズムをとる」の２つのポイントを再確認する。 **○課題を見付ける活動** ☆軽快なテンポのロックのリズムを確認後、Workout 系の曲（BPM 140 前後）を提示し、「どう踊ったら「□□□」でも SPD になれるかな。」と児童に問い、「0.全身ではずんで踊る」「A.動きをチェンジする」「B.リズムをチェンジする」のいずれかから課題にするか選択させる。 どう踊ったら「□□□」でも SPD になれるかな。 ・「おためし□□□タイム」で新しい曲で踊った後、AB２つの課題から自分に合ったものを選択する。 ☆上記 AB の課題は、あくまで全身ではずんで踊るのが土台にあることを共有し、この時間では「0.全身ではずんで踊る」も課題の中に含めてよいこととする。 ☆選んだ課題の言葉が書かれたテープを体育帽子に貼ってもらい、課題の見える化を行う。その子に適した教師の関わりや児童が互いの課題を意識した交流ができるようにする。 **○おどりためしタイム** ・１グループ２、３ペア（４～６人）で８か所に分かれて、課題解決に向けて動きを試す。 ・個人でもくもくと活動したり、友達のよい動きを探してまねしたり、友達同士で教え合ったりなど、自分に合った方法で学習を進める。 ☆児童が課題解決を進める際に、そのヒントとなる掲示をグループ毎に用意する。児童が自分のタイミングで確認をしたり、ペアやグループでの交流の拠り所として使ったりできるようにする。 **○プチパーティ＋ SPD インタビュー（ICT）** ・ペア同士でダンサーとインタビュアーに分かれて、本時で試したよい動きを披露する。 ☆交流の仕方（対面、円形）を再確認する。 ☆ペアでお互いの踊りを撮影し合い、踊り終えた後にそのまま「SPD インタビュー」へと移行していく。よい踊りをした後の雰囲気の中でインタビューを行うことで、児童が言葉だけではなく動きも交えながら試した動きについて振り返る姿を引き出す。 ☆ダンサーを取り囲むようにインタビュアーが並び、ステージのような場を設定する。 **○動画みタイム** ・撮影した動画を確認し、課題解決の進捗の確認をする。 **○課題クリアチェック**（ICT） **○片付け、整理運動**	**○場の設定、安全確認** **○あったためタイム（準備運動）　※短め** ・全身ではずんで踊る動きを中心に心と体をあたためる。 ☆「膝をやわらかく使ってへそをゆらす」「体の各部分でリズムをとる」の２つのポイントを再確認する。 **○課題を見付ける活動** ☆新しい曲「APT.（Workout Version 141 BPM）」を提示し、「どう踊ったら「APT.」でも SPD になれるかな。」と児童に問い、前時までの経験を踏まえて「A.動きをチェンジする」「B.リズムをチェンジする」のどちらを課題にするか選択させる。。 どう踊ったら「APT.」でも SPD になれるかな。 ・「おためし APT.タイム」で新しい曲で 40 秒程度踊った後、AB２つの課題から自分に合ったものを選択する。 ☆上記 AB の課題は、あくまで全身ではずんで踊るのが土台にあることを再確認し、前時までの学びを生かして課題解決に臨めるように促す。 ☆選んだ課題の言葉が書かれたテープを体育帽子に貼ってもらい、課題の見える化を行う。その子に適した教師の関わりや児童が互いの課題を意識した交流ができるようにする。 **○おどりためしタイム** ・１グループ２、３ペア（４～６人）で８か所に分かれて、課題解決に向けて動きを試す。 ・個人でもくもくと活動したり、友達のよい動きを探してまねしたり、友達同士で教え合ったりなど、自分に合った方法で学習を進める。 ☆児童が課題解決を進める際に、そのヒントとなる掲示をグループ毎に用意する。児童が自分のタイミングで確認をしたり、ペアやグループでの交流の拠り所として使ったりできるようにする。 **○プチパーティ＋ SPD インタビュー（ICT）** ・ペア同士でダンサーとインタビュアーに分かれて、本時で試したよい動きを披露する。 ☆交流の仕方（対面、円形）を再確認する。 ☆ペアでお互いの踊りを撮影し合い、踊り終えた後にそのまま「SPD インタビュー」へと移行していく。よい踊りをした後の雰囲気の中でインタビューを行うことで、児童が言葉だけではなく動きも交えながら試した動きについて振り返る姿を引き出す。 ☆ダンサーを取り囲むようにインタビュアーが並び、ステージのような場を設定する。 **○動画みタイム** ・撮影した動画を確認し、課題解決の進捗の確認をする。 **○課題クリアチェック**（ICT） **○片付け、整理運動**	**○場の設定、安全確認** ３の２ダンスパーティ♪ めざせ、ＳＰＤ！ ベストムーブを披露して、友達と楽しく交流しよう。 **○「３の２ダンスパーティ♪」の行い方の確認** ・本時で扱う曲や場、学習の流れを確認し、見通しをもつ。 ☆曲は、前時までに扱ってきた Workout 系と児童に人気な邦楽や洋楽の中から選択する。 **○あったためタイム（準備運動）　※短め** ・全身ではずんで踊る動きを中心に心と体をあたためる。 ☆「膝をやわらかく使ってへそをゆらす」「かかとをバウンドさせてへそをゆらす」「体の各部分でリズムをとる」の３つのポイントを再確認する。 **○おどりためしタイム** ・１グループ２、３ペア（４～６人）で８か所に分かれて、課題解決に向けて動きを試す。 ・個人でもくもくと活動したり、友達のよい動きを探してまねしたり、友達同士で教え合ったりなど、自分に合った方法で学習を進める。 **○プチパーティタイム＋ SPD インタビュー（ICT）** ・ペア同士でダンサーとインタビュアーに分かれて、本時で試したよい動きを披露する。 ☆交流の仕方（対面、円形）を再確認する。 ☆ペアでお互いの踊りを撮影し合い、踊り終えた後にそのまま「SPD インタビュー」へと移行していく。よい踊りをした後の雰囲気の中でインタビューを行うことで、児童が言葉だけではなく動きも交えながら試した動きについて振り返る姿を引き出す。 ☆ダンサーを取り囲むようにインタビュアーが並び、ステージのような場を設定する。 **○動画みタイム** ・撮影した動画を確認し、課題解決の進捗の確認をする。 **○３の２ダンスパーティタイム** ・全員がダンサーとなり、今までの学習で身に付けてきたベストムーブを披露し合う。 ☆単元の最後の活動となるため、教師も一緒になってダンスパーティを楽しむ。 **○課題クリアチェック**（ICT） **○片付け、整理運動**
評価の重点					
知	①観察、ICT	②観察、ICT	②観察、ICT		
思				①観察、ICT	②観察、ICT
態	⑤観察	③観察	**④観察**	**②観察**	①観察